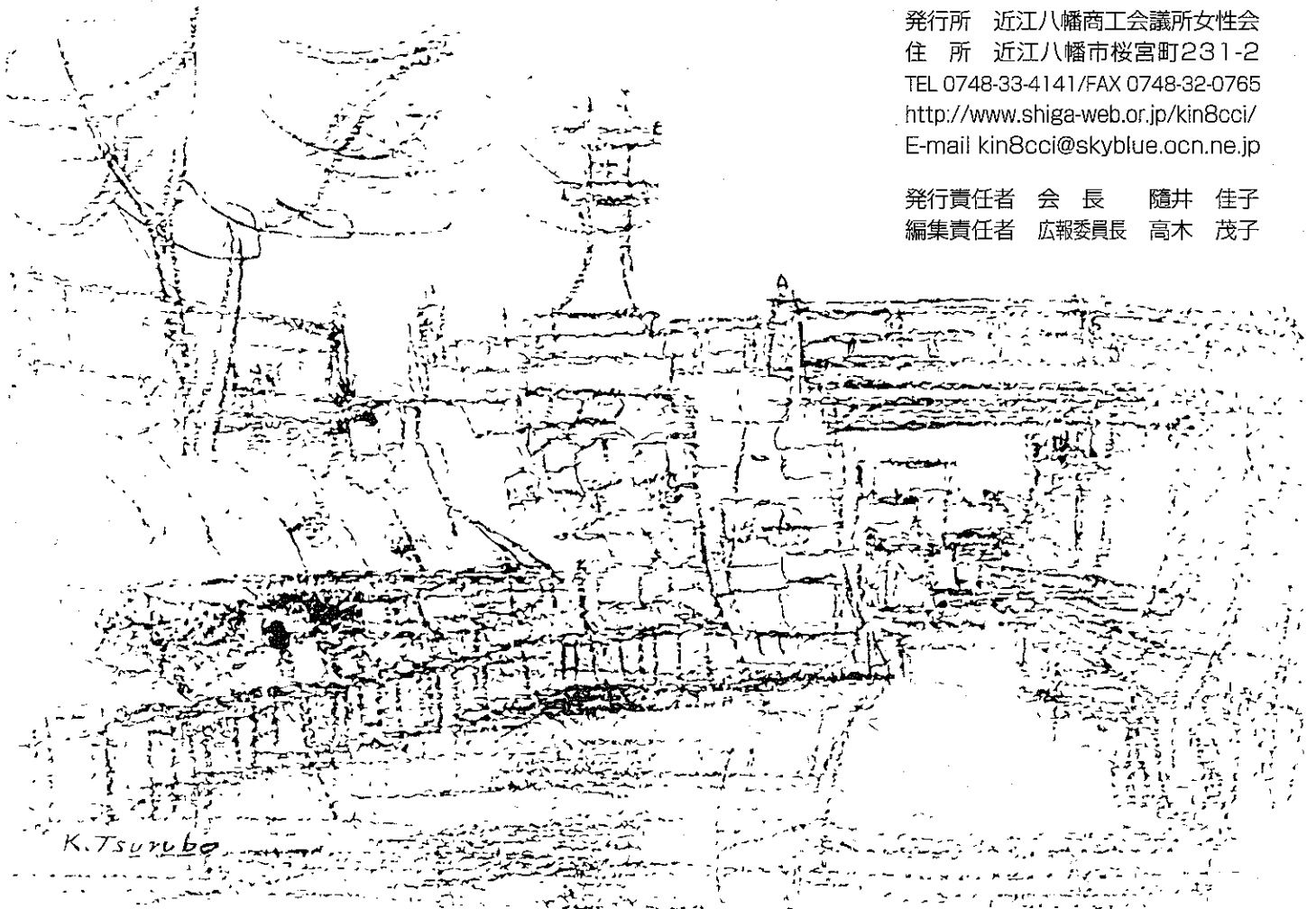


あすなろ

発行所 近江八幡商工会議所女性会
住 所 近江八幡市桜宮町231-2
TEL 0748-33-4141/FAX 0748-32-0765
<http://www.shiga-web.or.jp/kin8cci/>
E-mail kin8cci@skyblue.ocn.ne.jp

発行責任者 会 長 随井 佳子
編集責任者 広報委員長 高木 茂子



K. Tsuruba

ゆずっ子

畑の隅の柚子の木が
今年もいっぱい ゆずっ子育てた。

ゆずっ子とばあちゃんは湯舟につかった
ゆずっ子達は ばあちゃんのまわりを
プカプカ浮きながら
薫りを ほんのり プレゼント

うれしくなった ばあちゃんは歌いだした。

ゆずっ子 ゆずっ子 ばあちゃんは
おかげで ポカ ポカ あったかい
風邪もひかぬし 元気でいっぱい

ゆずっ子 ゆずっ子 ばあちゃんは
おかげでいいかおりいっぱい吸って
つかれは とれるし 元氣いっぱい
ゆずっ子は こたえた
ばあちゃん 私たち うれしいよ
お役に立てて うれしいよ

お風呂あがりのばあちゃんの
お顔はツルツル ピカピカ輝いた。

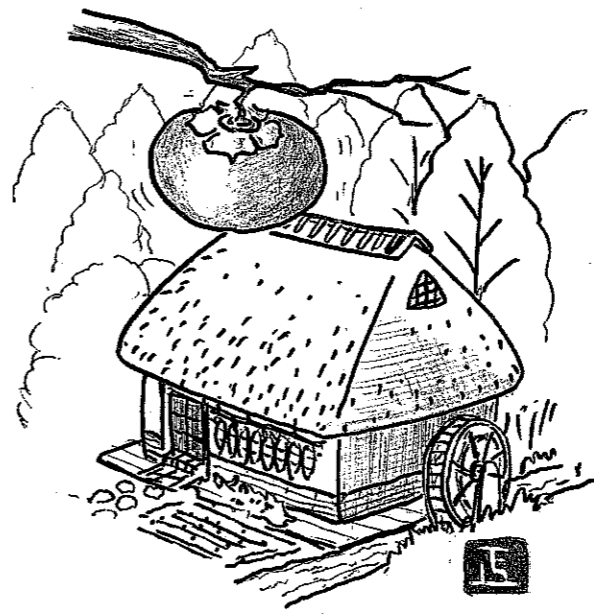
藤井 悦子
(第二委員会)

知足按分

近江八幡商工会議所女性会 会長 随井 佳子

厳しい暑さの長い夏も終り、黄葉紅葉の錦織りなす風景に心癒される間もなく、早い寒さの訪れに戸惑う日々でございます。身近に地球の温暖化を感じ自然が私達に変化を告げている様です。二十一世紀、心の世紀も早三年目を迎え様としています。世界情勢も拉致事件問題には涙落つるを覚え、イラクへの軍事攻撃問題等、世界中の人々に、次々に何が起るか分からないといった不安を与えております。日本の経済の行方も最も長い不況の中、まだまだ先行き不透明で、ピンチをチャンスにと、口には易し乍ら極めて憂慮すべき事態となっております。危機管理を足元から見直し、たゆまぬ努力の必要性を感じます。一方では、東大名誉教授の小柴昌俊先生と島津製作所の研究員の田中耕一氏がノーベル物理学賞、化学賞を受賞され、日本の誇りとする所でございます。只管コツコツと、研究を続けられての偉業を成され、敬意と共に将来に灯が見える、ほのぼのとした心にして下さいました。

IT時代も電子自治体へと刻々と進みますが、「先義後利業」の素晴らしい先人の知恵を生かし、後世に伝え残せる様な働きをし、最善の方法を地道に見つけ出し、立ち向かって、かけがえのない日々を歩まなくてはならないと思えます。全国商工会議所女性会連合会福岡大会で、女流推理作家で草分け的存在の夏樹静子先生が原始時代の男性は「太陽」で、女性は他の力を受けて輝く「月」であり、今の時代は女性も変わってきて、求めるものから、求められる「太陽」であると語られ、女性が男性を支える、男女共同参画社会の時代であることを強調されました。日本庭園の躡蹠の形でよく目にする「吾唯足知」と自分に与えられた分限に満足する心の「知足按分」を心の拠として、いきいきとして生きぬくべきことと感じ入りました。私達女性会も各自の事業経営は勿論ですが、お互い信じ合い、助け合い、心豊かに、しなやかな心で、少しでも潤いのある地域社会となる様、努力精進して行きたいものがございます。今後益々素



知足按分 自分の持ち分に満足、または満足すべき持ち分を自覚すれば心安らかにいられるという意味、高望みせず、心静かに暮らすこと。
吾唯足知 禅の教えて字の如く「私は満足していることだけを知っている」という意味、精神的に満たされた人知足は、貧しくても富んでおり、富が合っても、不足の人は貧しいということ。

寄稿

近江八幡商工会議所女性会 会報「あすなる」に寄せて

滋賀県商工会議所女性会連合会会長 熊谷 操
大津商工会議所女性会会長

朝夕めつきり冷え込み、紅葉の美しい季節となりました。

随井会長様をはじめ近江八幡女性会の皆様におかれましては、益々お元気で活躍のこととお喜び申し上げます。

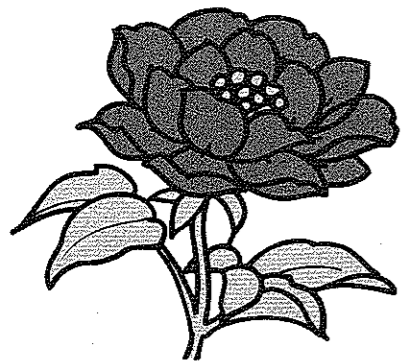
近江八幡市は、歴史的にも伝統ある近江商人の発祥地であるとともに、風光明媚な名所旧跡に満ちた地と存じております。先日も御地を訪れ、西の湖にうつる夕日に出会い、しばし日頃の忙しさから開放され、時のたつのも忘れて、その美しさにただただ魅入らせていただいております。素晴らしい風景に感謝しつつ帰途につかせていただきました。

わたくしども大津の地もこの季節石山寺、比叡山をはじめ、色とりどりの秋景色が皆様方をお迎えすること存じます。是非足をお運びいただければ幸いに存じます。

さて、滋賀県商工会議所女性会連合会が設立され、本年度四年目を迎えました。今年度会長を務めさせていただくこととなり、微力ではございますが、会の発展のために尽力してまいる所存でございます。長引く不況のもと、不安材料ばかりが取り沙汰されておりますが、とかく暗くながりちなこのような時こそ男性と女性が対等な立場で社会に参画し、喜びも、責任も分かち合う輝く社会が実現できるところが望まれます。その一環として、元気になる女性起業家を応援する諸施策の充実を目指して県女性会連合会としても取り組んでいくべきだと考えます。不況の時こそ女性が元気でなければ。難しい問題が山積みですが、まずは地域経済を盛り立てることがわたくしたちの使命であるように思っております。

県商女性連の活動を通してわたくし自身も様々な方とお出逢いし、元気をいただきました。もつと多くの会員の方々にご参加をたまり、より友情を深め、充実した事業活動を展開するべくご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、近江八幡女性会様のご繁栄と、会員皆様のご健勝を祈念申し上げましてわたくしのつたない寄稿とさせていただきます。



いつでも旬

小林 英代

いつの間にか五十歳を向かえ、「あれっ」と思っている間に一年が過ぎ、二年が過ぎ、こうしてもれなく更年期を迎えるのかなあと思いながら「あすなる」の文書を書かせてもらっています。

私の美容生活、店の経営、子育てと、後を振り返る時間もなく旬、旬を頑張ったのかなあと、今やつと振り返る時間が少少できてきました。

男性社会、学歴社会、肩書き社会の中で女性だから見栄を張ることもなく、仕事と子供を育てることが私の旬と。

子供が大きくなるように店舗の数、スタッフの数が増え、店づくりが旬とハサミとコームを振りかざし、旬のヘアスタイルを創らしてもらおうお客様に「きれいになられましたね」の言葉と一緒に二十五年。

人生を生きていくのに命綱があるとしたら、私の命綱は美容の仕事だったと思います。本当に仕事をさせてもらって、いっぱい、いっぱい感動することに出会わせてもらおうことがで

き、子供も大きくなり幸せだなあと思っています。

そして、私がお出会えできた多くの方々に「ありがとうございます。」と感謝しております。「モアさん、まだ働いているのか」と聞かれたら、「ハイもちろん仕事が好きですから」と答えられるように旬を保ちながら、男女が自立したパートナーシップのもとに仕事も家庭も自然にかかえることができる時代になっていくよう、私の残りの旬を何かに役に立てるように頑張りたいと思います。

おせっかいな私

中江 しげ子

私は、「おせっかい」おばさんかな？此の間こんな事がありました。ある銀行での事です。その日は、月曜日で大変混雑しておりまして中に、七十五才位の「おじいちゃん」が預金の預け入れに窓口へ来られました。行員さんは、キャッシュコーナーの利用を勧められていました。速く出来る事から親切又サージャスの気持ちからだと思えました。でも、そのおじいちゃんは使い方が解らないのか困っ

た様子でウロウロされていました。そこで私（おせっかいおばさん）の出番です。操作のお手伝いと説明を少しさせて頂き、無事に済んで、

「ああ助かった」と喜んで頂き、私も良かったと「自己満足」している時、私の名前を窓口で何回も呼んでいた様子、周りの人々「おせっかいおばさん何してんの」と云わんばかりの顔つき、私の気のまわしすぎかも知れませんが、でも元来の楽家の私、「おじいちゃんが喜んでくれはったし、まあ、いいか」なんて立ち直りも早く、自分「おせっかい」は直りそうもない気がします。でも、「おせっかいも、ほどほどに」と良く云われます。余り度が過ぎると「おしつけ」になりかねませんので気をつけながら自然体で「ガンバロー」



おしゃまします!!



米浅商店

電話〇七四八二六八〇六

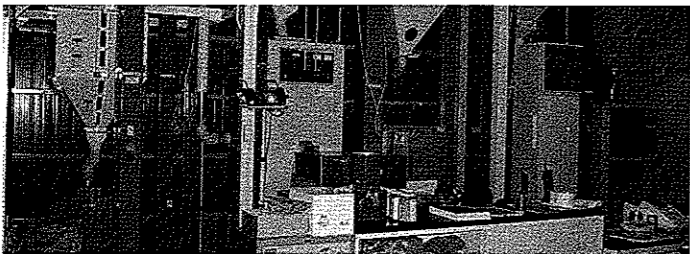
近江八幡市十王町七三三

太田 悦子さん

日本はお米が主食なので安全なものを食べて頂くことに貢献したいと確固たる決意を持って、有機JAS認定業者として北里商店街で、営業しております。先代は穀物商で先代は昭和八年頃から肥料商に転じ、昭和四十二年に、ご主人が受け継がれました。これまでにお米の安全性を追求するために多くの研究や障害を乗り越えられて夫婦二人三脚で頑張つて来られました。ご自身の田んぼで米作りをしたり工場での長年地道な努力を積み重ねてこられました。

その結果、現在は生産者さんが一生懸命作られた無農薬のお米を粉の状態を持ち込み、乾燥、選別、精米そして検査まで責任をもって行い安全なお米を消費者まで、お届けするシステムを一貫しておられます。

生産者は誇りをもって正当な利益が上がる体制の中で米作りに励み、自分達が納得でき農業を追求し、何よりも消費者にとって安全なお米を一人でも多くの方に届けたいと活き活き、お話し下される奥様の熱い気持とご主人の米作りに対する情熱が伝わってきました。



株式会社 オギキチ

電話〇七四八二四一八九〇

近江八幡市野村町二二五二二

村井 光子さん

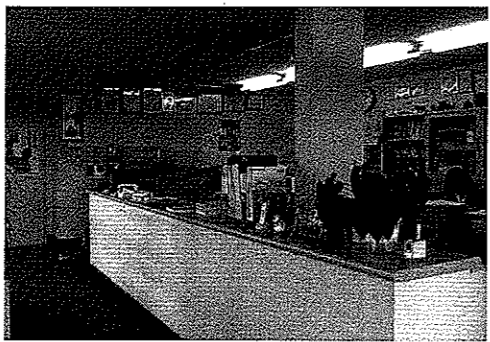
昭和四十七年十月近江八幡市小田町において扇吉プロパン商会を設立。十年後の昭和五十七年に現住所の野村町に店舗を移転、昭和六十二年に株式会社オギキチを設立して今日にいたり現在十六期目を迎えました。

営業品目はプロパンガス、灯油等の販売、また近江八幡上下水道の公認店、台所・風呂等の家庭・会社などの設備、その他、市上水道の本管の設置等の工事を主としておられます。

社員十二名と社長と奥様のコンビネー

ションで、地域の生活空間の提案をする企業として、日々、顔の見えるコミュニケーションをめざし地元密着型の営業をされておられます。

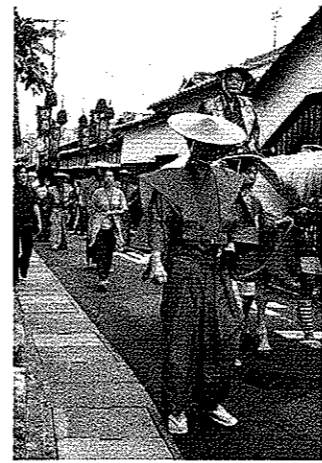
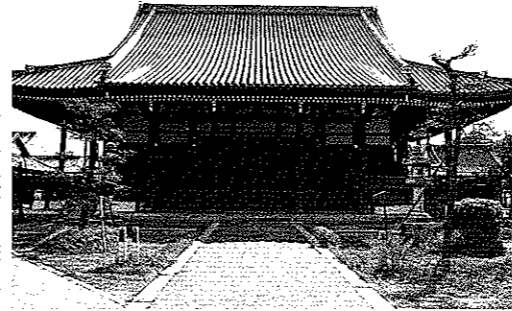
毎年七月にはオギキチ主催のグランドゴルフ大会があり、地域の人々七十名程の参加があるそうです。今年も盛況に十二回目が行われました。奥様のやさしい笑顔は、より明るく地元の方々の交流が計られていることがよく感じられます。



ぶらり八幡



本願寺八幡別院 朝鮮人街道



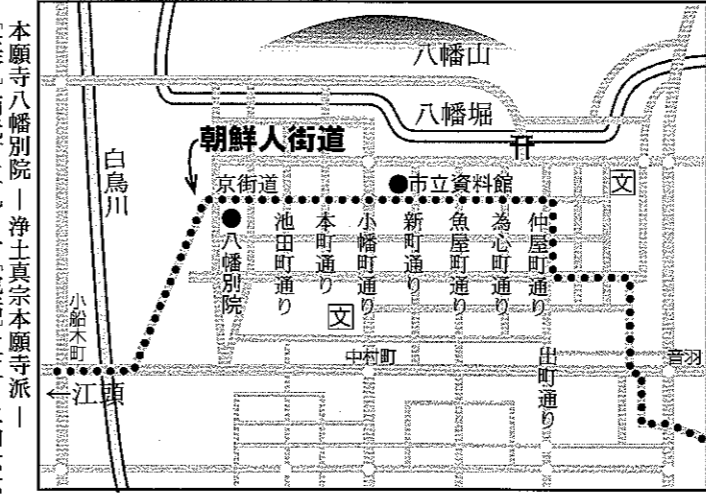
本願寺八幡別院は古くは蒲生野に創建され、織田信長の安土城築城に伴せ移築され、後に豊臣秀次が八幡開町とともに安土から再移築した大寺院です。

豊臣秀吉の朝鮮出兵により日本と朝鮮との国交は途絶えましたが、徳川家康が政権を掌握してから、朝鮮との国交回復の交渉が行われ、一六〇七年から一八一一年までの間に、十二回もの正式な外交使節団「朝鮮通信使」を迎え近江八幡は昼食休憩場所として当てられました。約五百人にも及ぶ使節団の一行はソウルを出発し、プサンより海路で対馬から瀬戸内海、淀川をのぼり京都へ。その後、陸路で中山道、東海道を通り江戸まで往復しました。その長さは二千里に及び、約一年かかりました。その道程の中で、野洲から彦根まで中山道と別れて琵琶湖側を通った街道を、今でも「朝鮮人街道」と親しみを込めて呼ばれています。

近江八幡は通信使の昼食、休憩場所となり、正使、副使など主だった人々は本願寺八幡別院で、他の使節団は街道筋の寺院や民家に分れて食事をとりました。

十月十九日・二十日の二日間、この近江八幡で『朝鮮通信使ゆかりのまち 全国交流会近江八幡大会』が行われ、韓国より来られた方々や地元の方々によって、通信使の行列が再現され市内をねり歩きました。本願寺八幡別院では特産品コーナーや、食文化の比較体験コーナーなど屋台のテントが並び、他にも市内各地で催しや展示会が行われ盛大なイベントとなりました。

その当時も通信使を迎えることは、まちをあげての一大公式行事でした。衆士や画家、医師なども使節団の中に多く含まれており、各地で様々な文化交流も盛んに行われたと言われています。



平成14年 女性会ではこんな活動をしてきました。

4月10日

平成14年度定期総会開催。15名(委任状27)。今年度は、役員改選が行われ、選挙区を配布可決承認。

なかなか、女性会行事で遠出ができないが、今回懇親会を比較山にある「ホテル」に比較して開催。

4月19日 滋賀県商工会議所女性会連合会総会参加。クサツエスピアホテルにて開催。

県下6商工会議所女性会(大津・草津・守山・八日市・彦根・近江八幡)68名が参加。当所から9名参加。

5月9日 第14回近畿商工会議所女性会連合会鯖江大会参加

「花音・技」越前鯖江に集う女性の輪をテーマにサントーム福井に近畿2府5県より707名が集結。総会後、作家・神津カナン氏により「しなやかに生きる」と題して、「30年前」だと思ってきたことが、視野を狭くする固定観念を植え付けていたこと、「見えないう」に「見えない」を「見えない」に変えれば、全然違うように感じることなど興味深い講演があった。懇親会では、福井県内の女性会会員が「

越前鯖江に集う女性の輪



テーブル名がおもてなし担当でおられ、各女性会の友好と親睦の輪を広げるお手伝いをして下さいました。

6月4日 資質向上研修会。21名が参加。今年には著名人というところで、知る人ぞ知る料理旅館大和店主藤田和子氏との座談会開催。

女性経営者として「大宗」ブランドを守られている現在までのことを、藤田氏を囲んで女性ならではの悩みなど、笑いあり涙ありの会になった。

7月11日 県商女性連合会研修会。7名が参加。県下6女性会が持ち回りに会場を回っているが、今回は彦根にて開催。

彦根商工会議所副会頭宮川孝昭氏の(永楽屋尼子工場の見学。

彦根仏壇特有の伝統技法「工部七職」の職人の手により、全工程、手作業を見学。従業員30名で年間240もの仏壇を製造されている。

彦根商工会議所常務議員藤岡昭雄氏が工場長をされているキリンビル(株)滋賀工場の見学。甲子園10個分の敷地に生産工程があり、ゴミにならなくなってしまふもの有効活用で、環境問題を考えた「ミゼロ工場」の見学となった。

7月26日 官庁街奉仕作業。毎年恒例になってきた官庁街の除草・清掃作業を実施。18名が汗を流した。

環境・ごみ問題を通じて地域社会に貢献することを目

的に、市民夏まつりであるてんびんまつり開催前に9年前から毎年実施している事業。

8月4日 第17回八幡てんびんまつりに女性会チャリティバザーを開催。

当所前の駐車場特設会場で、福祉事業活動への一助にあてるためのチャリティバザーを開催。

9月23日 月見・鯉沼廣行氏の横笛を聴く会開催

11名が参加。女性会副会長小林英代氏のお声掛けにより、進んだ企画。今回もまた著名人で、俳優さんたちとのコラボレーションも多数。NHKや黒沢明映画に出演されている鯉沼氏とお弟子さんの金子久美子さんの横笛の演奏を月のきれいな西ノ湖をバックに芸術の秋を楽しんだ(みました)。

10月3・4・5日 第34回全国商工会議所女性会連合会総会福岡大会。

今回は少し遠かったこともあり、女性会3名で出席。やはり博多は暖かい。駅に降りたときに夏の終わりのような、蒸し暑い空気に体を包まれた。

3日 会長会議出席

4日 第34回全国商工会議所女性会連合会総会出席

5日 滋賀県下6女性会視察研修会



11月1日 卓上型カラー拡大読書器を市福祉課へ寄贈

てんびんまつりに女性会チャリティバザーを開催して今年で10回目を向えた。

福祉事業の一環として収益金の一部を近江八幡市へ。今年、近江八幡市福祉課の窓口に来られたお客様で、視覚障害のある方のための「卓上型カラー拡大読書器」を寄贈した。これからの、社会に貢献できる活動が続いていく予定である。



女性会への入会をお待ちしています

新会員募集中

入会資格

近江八幡商工会議所の会員事業所の

- ① 女性経営者
- ② 経営者の妻及び家庭で経営に関与している女性
- ③ 職務上要識にある女性



第1委員会「環境」奉仕作業 同和問題研修会 新年懇談会

第2委員会「研修」広報誌「あすなる」発行 市内研修会

第3委員会「福祉」てんびんまつりチャリティバザー

この3委員会で開催する行事の他にも、娯楽活動や生涯学習など多彩なイベントを行っています。

▼パソコン教室

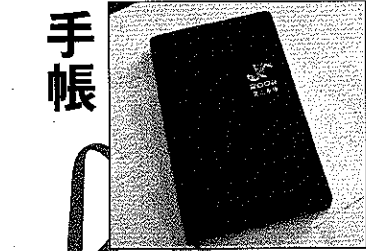
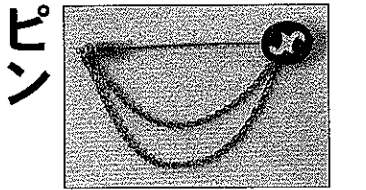


▲てんびんまつりで総踊りに参加



近江八幡商工会議所女性会設立10周年記念での会員集合写真

このような近江八幡商工会議所女性会のグッズがあります。



ペン
手帳



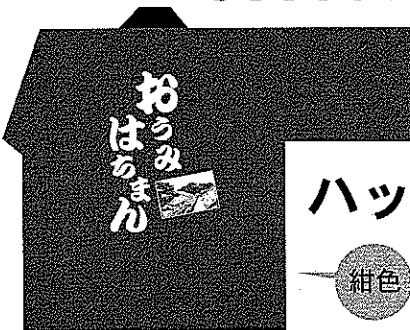
紺色

エプロン



桃色

Tシャツ



ハッピ

紺色

GOODS

今後の行事予定

11月

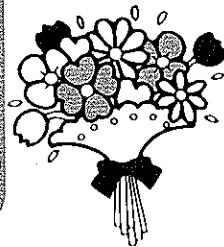
あすなる第15号発行
8日 人権学習会
バルーンアートセミナー

2月

新年懇談会
市長と語る会

3月

正副会長会議
理事会



編集後記

もみじの葉が青や黄、だいたい、赤と錦秋深まり、私たちを楽しませてくれています。あすなる15号も、皆様のご協力で発行することができました。原稿をお願いしました方々、お忙しい中、ほんとうにありがとうございました。

今年もあます所、2ヶ月となりました。1年を振り返りかえって行事の1つ1つに苦勞があった中に楽しさあり喜びあり得るものがありました。人と人との輪を！出合いを！大切に、これからも中身の濃いものにしたいたいと思っております。今後の女性会又あすなるに対するご意見、ご要望をお聞かせ下さい。お待ちしております。

皆様の頑張りとご協力の程宜しくお願い致します。

第二委員会 大橋美代子